

# 「二高白神プロジェクト」 第1回招へい講座

令和年6月7日（金）の総合的な学習の時間に「二高白神プロジェクト 第1回招へい講座」を実施いたしました。

本校では総合的な学習の時間を中心に、世界自然遺産「白神山地」の魅力を伝えることのできる生徒を育成する「二高白神プロジェクト」に取り組んでいます。

その一環として、専門的な研究を行っている大学の教員や白神山地に関わる有識者から白神山地に関する内容の講義をいただき、生徒の知的好奇心を喚起し白神山地への知識を深めることを目的に招へい講座を実施しています。

**講師** 藤里町地域おこし協力隊 小原 拓万（こはら たくま）氏  
**演題** 「白神山地の歴史と映像」



講師の紹介



講師の小原拓万先生

白神山地は1993年、鹿児島県の屋久島、奈良県の法隆寺、兵庫県の姫路城とともに日本で初めて世界自然遺産に登録されましたが、それは面積1万ヘクタール以上に渡って広がるブナの原生林には、人の手がほとんど介入していないことが大きく評価されたためでした。

今でこそ世界自然遺産として注目されていますが、かつてはその存在が軽視されていました。小原先生は白神山地の歴史的評価を下積みの長かったタレントの出川哲朗さんと比較しながら、分かりやすく説明してくれました。

かつては  
①『役に立つ』となかなか認めてもらえなかった  
②次第にぶなの森の重要性が認められるようになった  
③日本初の世界自然遺産に登録された  
↓  
④山を愛好する人たちの間で大人気になった  
今は

『白神山地』の評価は…



パワーポイントを使って説明



小原先生に質問をする生徒

今回の講演のテーマは「自分が今いる場所(白神山地)を使ってどうやって楽しく過ごせるか」でした。小原さんは藤里町地域おこし協力隊として、町をPRするCMを作ったり、町の名物作りとして「藤里ハンドメイドガチャ」などを考案し、日々地域を明るくする活動を展開しています。生徒のみなさんには白神山地系YouTuberとして動画配信すること、映画作り、新種の昆虫発見など、ユニークなアイデアを提案してくれました。そして「白神山地の麓で暮らすこと」自体が個性なので、活用方法は先人にとらわれ過ぎず、自由な発想で考えてほしいと力強く語ってくれました。

今回の講座では「個性の大切さ」や「自分にできることを考えるという姿勢」を学びました。私たちの小さな努力で、白神山地がこれから何万年も続いていくことにつながると思いますね。



藤里町のPR動画を紹介



生徒会執行部からお礼の言葉

最後に生徒代表として3年生の工藤梨花さんが感謝の気持ちを述べ、講演会は終了しました。

### ～～ 生徒の感想から 一部を紹介 ～～

これまで都会や海外にしか興味がなかったのですが、今回の講演を聴き、自分たちの住んでいるところも中々いいなあと興味が湧いてきました。僕は映像で見せてもらったような自然が好きなので、早く行ってみたいと思いました。また、小原拓万さんは大阪に8年、東京に3年、サラリーマンとして生活し、2017年に秋田にいらしたそうですが、僕も小原さんのように自分の生き方を人に左右されないような人生を送りたいと思いました。

今回の講座は面白くて聞きやすかったです。話し方も上手で、飽きることなく聞いていられたので助かりました。説明を聞いて、どれだけ白神山地が大切にされてきたのかを知ることができました。切られたり、加工されて価値が付いた他の木と違い、小原さんが言っていたように、ただ生きるだけで価値を高めていったブナはすごいと思いました。それから、何事にも挑戦する小原さんもすごいと感じました。私もこれから先いろんな事を頑張っていきたいです。

白神山地の魅力や、この地域に与えてくれる恩恵この講座で再認識することができました。長い歴史の中で変わらずに在り続ける白神山地を少しでも多くの人に伝えたりすることができればいいなと思いました。今回の講座で知ったことなどを思い出したりしながら、白神フィールドワークに取り組んでいきたいです。

今回の白神招へい講座では、地元の人達の白神山地に対する思いが強い事が分かった。今までに2回も白神山地に行っているけど、8000年の歴史がある事を聞いて、改めて凄いと感じた。そして、8000年前に住んでいた人達と同じ風景を見ていられるというのは、きっと唯一ここだけだと思うので、それが身近にあることが誇りだと思えた。星の写真はカメラを通すとあまり写ってくれない事が多いのに、小原さんの写真はあんなにキレイに撮れていてうらやましかった。